



日時：平成 16 年 4 月 22 日(木)13:30～15:30

場所：讃岐会館 2 階 大ホール

議事次第

1.開会

2.挨拶

3.議題

(1)協議会の加入状況について(資料1)

(2)平成 16 年度事業計画(案)について(資料2)

(3)事業者への協力のお願いについて(資料3)

- ・再生紙 100%のトイレトーパーを買おうキャンペーン
- ・環境にやさしい買い物キャンペーン
- ・レジ袋を減らそうキャンペーン
- ・簡易包装推進キャンペーン
- ・省エネ家電製品普及キャンペーン
- ・買い物袋持参率全県調査

(4)その他

4.閉会

ネットワーク グリーンコンシューマーかがわ事業者懇談会 議事要旨 (16.4.22)

(事務局)

資料にしたがって、順次概要を説明

(意見交換)

【レジ袋減らそうキャンペーンにおける社会貢献策について】

- ・ゴミ削減という本来の趣旨から少しずれてしまうのではないかと。もともとは、ゴミ削減が目的だが、大きく捉えると、環境を守ろうということになるので理解していただきたい。
- ・社会貢献か商品選択を選ぶのではなく、どちらも一緒に応募できるようにした方がインパクトがあり参加する人が増えるのではないかと。
W応募も当初考慮はしたが、今回初めての試みということもあり、香川県の県民性を捉えるためにも、選択型を採用した。
- ・社会貢献策の意味合い等相当告知していく必要があるのではないかと。
レジ等でのトラブルが起こらないよう有効的な広報活動を行う。

社会貢献策で、事業者から任意の拠出金をいただくとなった際、どのような形で拠出していただくのが事業者側としてはやりやすいのか。

- ・スタンプ1個につき 円、というやり方は、額が事前に把握できないので問題がある。一口円から、というように、ある程度の目安を示してほしい。
- ・レジ袋の削減による経費削減ができていますので、相応の拠出はさせていただくつもりだが、目安は示して欲しい。
- ・独自に環境団体の方へ拠出しているのでは、二重の拠出となると難しい。
- ・商品提供の形で参加させていただきたい。
- ・社会貢献策を選択した場合でも、10ポイントたまらなないと応募できないのか。
社会貢献策を選択した場合でも10ポイントたまってから応募していただく。
- ・社会貢献策を選んだ場合に、社会貢献をしたことを目にみえる形で反映できないか。
植林した場合に、その木にグリーンコンシューマーの名前をつけるなどの案はあるが、その辺

りの話は直島町との協議が必要。基金の受け皿はできているが、拠出したことを目にみえる形で具体的に植林した木に反映できるかどうかなどはまだ話を詰められていない。

- ・まとめ買いをする人のことを考えて袋1枚につきスタンプ1つにした方がいいのではないか。

【簡易包装推進キャンペーンについて】

今年度からの試みとして、簡易包装推進キャンペーンを行うが、店によって「簡易包装の基準」というのがあるのか。

（各スーパー）

- ・簡易包装に特別な基準はない。お客の方から要望があった場合にしている程度で、普通は完全包装をしている。簡易包装をして下さい、と言われるケースも少ない。
- ・簡易包装をし、腹巻きやひもがけをするといった場合、対応した紙や機械が必要になる。その製作費や機械のコストの割りに、需要は少ないと思われるが・・・。
- ・簡易包装という言葉が発していない。

（百貨店）

お中元・お歳暮などは、個別発送の場合、基本は簡易包装で、約90%を占めている。簡易包装の基準は腹巻きがけ、短冊のし。随分前から行っており浸透率も高く、特段苦情もない。ただ、贈答品を直接持ち帰る場合は、持ち運ぶ際に商品が痛んでしまうのを防ぐために、完全包装をするのが通常である。

一般商品でもNO包装をすすめており、袋にテープのみで約50%の浸透率である。

（クリーニング店）

個別に袋をかけている。見栄のためではなく、汚れを防ぐという目的であるため、簡易にすることは不可能。